

『スパークス 日本株長期投資のすすめ』



スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第63号(2010年1月8日)

「市場は間違える、だからチャンスがある」

今回はスパークスの創業者である阿部修平が昨年執筆いたしました「市場は間違える、だからチャンスがある」(日本経済新聞出版社)を紹介させていただきます。

本書は、阿部が国内初の上場資産運用会社であるスパークス・グループを創業するまでに会った世界を代表する著名投資家の投資理論、それに加え弊社の運用調査活動の基礎となっている投資理論などについて、述べさせていただいており、弊社の日常の投資活動がどのような考え方に基づき行われているのかをご理解いただくことができるのではないかと思います。

さらに今後私たちが、投資のテーマとして大きく注目している、アジアの成長と環境分野についての見通しや、今後投資家としてどのような行動を取るべきなのかということも述べさせていただいております。

本書をお読みいただくことで弊社への理解が少しでも深まっただけにとともに、皆様の今後の投資行動に少しでもお役に立てるのではないかと考えております。

(注) 本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。